

働くよろこびと 社会参加の輪を広げよう

31号

静岡県シルバー人材センターだより

自然豊かな中でゆったりとした一日を過ごす

ふれあいサロン “なごみ”



なごみ全景



島田市中心地から車で10分。緑豊かで閑静な環境の中、古民家を利用し島田市シルバー人材センターが運営するデイケアサービス施設“なごみ”があります。
利用者から「行くことが楽しみ」と愛される施設となっております。

第31号 も く じ

会長挨拶	2
第28回通常総会を開催	2
国、県に陳情「実情を訴え補助金の確保を」	2
安全・適正就業について	3
進む新たな公益法人への取り組み	3
東シ協総会 6月17日熱海で開催	3
家事援助、子育て支援サービス事業（県内全センターの事業化推進中）	4
新任役員の研修	4
ふれあいサロン「なごみ」 高齢者の自立と介護を応援 島田市SC	5
「かるがも農園」かるがも自然学級事業（企画提案事業）を始めて2年 焼津市SC	6
伊豆の名所源頼朝配流の地 蛭ヶ島茶屋 伊豆の国市SC	6
シルバー派遣事業で多様な就労 静岡市SC	6
シニアワークプログラム地域事業	7
シニア就業支援プログラム事業	7
平成21年度グラフで見る県内全センターの実績	8

発 行 者

(社)静岡県シルバー人材
センター連合会

〒420-0851

静岡市葵区黒金町5番地の1
（静岡県勤労者総合会館）

TEL(054)254-7240

FAX(054)205-4540

E-mail shizuren@abelia.ocn.ne.jp

発行日 平成22年10月27日

発行人／大 村 脩 平

編集人／遠 藤 幸 久

会員の皆様へ



静岡県シルバー人材センター連合会

会長 大村脩平

今年の夏は記録的な暑さの連続で、会員の皆様にとって、大変つらいシーズンだったとお察し申し上げます。

9月の声を聞き、富士山に初冠雪のニュースが流れると、やっと朝夕涼しい季節となりました。

8月の末に、大手新聞の静岡東部欄に、某シルバー人材センターが事業仕分けの結果、「不要」とされた記事が出ました。一瞬背筋が寒くなる思いがしましたが、後で色々の情報を調べた結果、「不要」と言うより補助金に頼った運営を徐々に自立した運営に改善すべきであるとの事でした。

どちらにせよ、シルバー人材センターは、生まれ変わる時期にきた事は確実です。今後共全国80万人の会員と3,000億以上の運営実績を上げているシルバー人材センターの火を消すことなく、後に続くシルバーの会員のためにも、ますます繁栄するシルバーに変わるべく努力していきます。

(伊東市SC理事長)

第28回通常総会を開催

(6月14日)



静岡市において総会を開催し、全ての議案が議決され新理事に山本誠氏(富士市SC)と赤堀一士氏(菊川市SC)を、また、新監事に甲賀文生氏(焼津市SC)を選任、さらに理事会では副会長に金森武夫氏(浜松市SC理事長)を選出。

また、連合会にご尽力いただいた増田久吉氏(焼津市SC)と桐田功氏(掛川市SC)が表彰されました。

国・県に

陳情

シルバー活動へのご理解とご支援を



大村会長から新宅労働局長に要請

10月7日に大村会長以下連合会役員が、労働局長、県議会議員、県経済産業部長などに対し、実情を訴え補助金を確保するよう、陳情しました。

特に今年度は、国や県、市町の事業仕分けを受けて補助金が大幅に削減され、さらに不景気による受注の減少というダブルパンチの中、シルバーの窮状と、補助金がなければ運営できないシルバーの制度についても十分説明し理解を求めました。

新宅労働局長からは、シルバー制度は本当に喜ばれている制度だと、深い理解をいただき、県議会議員からもシルバーの社会貢献は大きいと評価の発言をいただきました。

また、県経済産業部長からは、緊急雇用創出事業を活用した事業の提言もいただきました。

陳情を通じて、各センターが必死に経費削減を行っていること、事務費のアップは不況下では難しいこと、シルバー会員の社会的貢献などについて実情を訴え、また事業仕分けの補助金「不要」判定について会員は大きなショックを受け落胆していることを伝え、配慮をお願いしました。

また、市長会、町村会に伺い、各首長への伝達を要請しました。

安全・適正就業研修会開催

気のゆるみ 慣れと油断が 事故のもと 全国共通スローガン

県連合会では、7月6日(火)、静岡市の静岡労政会館6階ホールにおいて「安全・適正就業推進研修会」を開催。本年度の研修会は、基調講演に労働者派遣法をとり上げたため、安全・適正就業推進委員に加え派遣担当者等128名が参加しました。事例発表は、会員による現場の熱心な取り組みや意見など臨場感のある内容であり、参加者の真剣に聞く姿がみられました。

○基調講演

「作業中の災害防止対策について」

静岡労働局労働基準部 安全衛生課長

仲野 寛氏

昨年は、県下で蜂刺されの労働災害が多く発生したことを踏まえて、予防とエビペン(アドレナリン自己注射器)の携帯などにもふれ対処法を詳しく説明されました。

「一般労働者派遣法のルールと同法改正案について」

静岡労働局職業安定部 需給調整事業課長

嘉茂精一氏

派遣事業は、適正就業を図るうえでは重要な取り組みになります。派遣元と派遣先の責任と役割の違いや運用のルールについて、内容ごとに分けて説明されました。

○事例発表

「草刈りの事故防止対策」

長泉町シルバー人材センター 安全委員

山下敏晴氏

「私たちの安全就業について」

御前崎市シルバー人材センター

安全就業推進委員長 鈴木富夫氏

委員 片山久雄氏

委員 真島久雄氏

【県内事故データ】

(9月末時 事故報告書による)

重篤事故 1件 傷害事故 5件

賠償事故 3件

今年の夏はかつてない酷暑であったため、厚生労働省からも注意の呼びかけが出るなど高齢者の熱中症対策に重点が置かれました。

また、シルバー保険が特約なしでは対応しないなど、事故の実態を把握しにくい状況もあります。

しかし、熱中症事故の対策と対応の教訓は、是非今後に活かしていかなければなりません。



進む新たな公益法人への取り組み

公益法人の法改正に伴い、現在の特例民法法人は平成25年11月までに、新たな法人として登記することが必要となっています。

連合会では昨年度から研修会を繰り返し開催してきましたが、現在24年4月の登記を目標に、各センターでは作業を急ピッチで進めています。法人制度改革に合わせて会計も新会計に変わるため、連合会ではセンターをグループ分けし、公認会計士を推薦して、県内シルバーが連携して申請作業が進むよう調整をしています。

なお、22年4月に御前崎市、吉田町、川根本町の各シルバーが任意団体から一般社団法人になり、今後の活躍が期待されます。

東シ協総会開かれる(熱海)6月17日

愛知、岐阜、三重、静岡各県から会員250人が集まり、東シ協総会が熱海後楽園ホテルで開かれ、不況、補助金削減等の厳しい状況について情報交換されました。熱海市長からご挨拶をいただくほか熱海市SCの大変なご協力をいただきました。



家事援助、子育て支援サービス事業

県内全センターの事業化推進中

核家族化等の進展により家族機能の外注化ニーズの高まりの中で、家事援助、子育て支援事業を県内全域で取り組む体制を整えるため、「福祉・家事援助事業推進基本計画」を平成20年度に策定。委員会を設置し委員による活発な普及活動および県内各地域における研修会を展開しています。

○介護・家事援助

5月28日（金）なゆた・浜北においてNPO法人スリーA増田未知子所長を講師に研修会を開催。西部ブロック7センターから会員等135名が参加しました。

「認知症にならない老後のために」をテーマに講演と認知症の母を介護し個展を開けるまでになった実話映画「折り梅」を鑑賞し参加者は一様に感動を受けました。

また、本年度の福祉・家事援助委員会委員が講師となり実務研修を17センターにおいて計画し、9月までに5センターで実施し99人の参加となりました。

○子育て支援

本年は県内10センターで研修会を計画し、これまで6センターで開催し119人が終了しました。研修会の内容は子どもの心の発達、絵本の読み聞かせ等接し方、食育の進め、音楽教育、

子どもの疾病とけがについて等。専門的知識とノウハウをもつNPO法人ウオーター・ビジョンへ講師を委託し一会場4日間の研修を実施しています。

島田市シルバー人材センター
ー子育て支援研修会ー



磐田市シルバー人材センター
「家事援助」研修会



就業開拓および普及開発用に「名入れ折りたたみエコバック」を作成し、9月に各センターへ配布しました。

新任役員の研修… 気持ちを新たに

10月14日に静岡商工会議所を会場に、拠点センターの新たな役員を対象にした研修会が開かれました。

冒頭に県シ連大村会長から、困難な時代であるが役員が中心となりシルバー制度をしっかりと守り育てていきたいと力強い挨拶がありました。続いて、遠藤県シ連常務理事から、シルバーの現状と補助金削減や公益法人改革など当面している課題について講話がありました。

後半の研修は、安全管理士の中野洋一氏による、安全研修。集まった役員は改めて職責を確認し気持ちを新たにしていました。



ふれあいサロンなごみ

島田市シルバー人材センターは、高齢者の自立とご家族の方の在宅介護を応援します。

空屋となった古民家をご好意により無料で借り受け、平成17年12月に島田市シルバー人材センターがデイケアサービス施設として開設しました。ここでの一日のスケジュールは、血圧を測って健康チェック・体操・習字や小物づくり等屋内レクリエーション・昼食サービス・散歩等屋外レクリエーション・入浴サービスなど。

現在の利用登録者は16名で利用者の年齢は78才～94才。

専門3人と研修2～3人、そしてボランティア2～3人がお世話をしています。

施設では、習字・貼り絵・柏餅作り・畑作業、屋外に出て、桜見物・周辺散歩をしています。



習字手習い



いも掘り

〔遠藤孝子さんの話〕

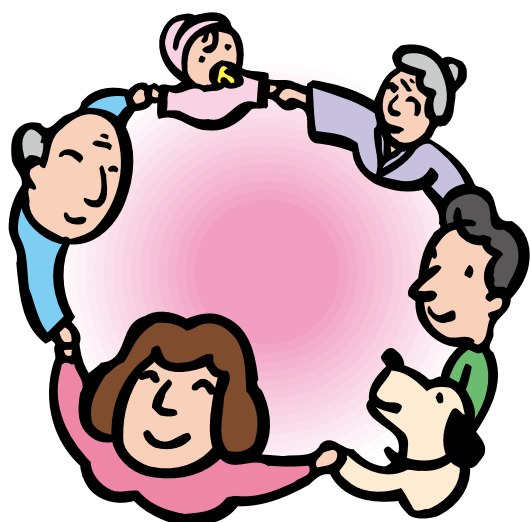
島田市シルバー人材センター職員
コーディネーター

最高齢者の男性利用者の方の話なのですが、ご家族の方から今日は用事があるから家に居たらと言われたのですが、「なごみの日だから休めません」と言って施設に来られたのですよ。「ここにきてよかった」と、心から思っていただけ施設をめざしています。

※遠藤さんは島田市社協と病院で14年ヘルパー業務を担当したベテラン。なごみの開設からたずさわっています。

〔利用者の一人 稲本久子さん(85才)の話〕

2年前から来ているが、友達もたくさんできた。本当に楽しい。



施設の案内

利用時間 午前9時～午後4時
利用日 毎週火曜日・金曜日

ただし12月29日、

1月3日は除く

定員 10人以内
利用料 一日2,000円

送迎 サービス内容 自宅から送迎(無料)
介護、昼食サービス
入浴サービス
屋内外レクリエーション
作業療法、生活相談



藤の花見物

かるがも自然学級事業

かるがも農園

焼津市CS



企画提案事業2年目になる「かるがも農園」の今年の夏は、とにかく暑くて草との戦いでした。異常気象で日照りが続き、水不足で例年に比べ野菜の成りはまいち。

でもがんばって、体験農園として一般募集で参加の親子や、保育園の子ども達との野菜作りをしました。飽食の時代といわれる現代人にとって食づくりは生きる基本です。

できるだけ有機栽培にこだわり、安心安全な食べ物へのこだわりを大切に…。

かるがも倶楽部会員さんの結束も強く、楽しんでやっています～す！

是非、焼津に来たら大井川の「かるがも農園」に来てくださ～い！



伊豆の名所 源頼朝配流の地

蛭ヶ島茶屋

伊豆の国市シルバー人材センターが市から委託を受け経営

平成21年に伊豆の国市から管理委託を受け2年目。売上高は月平均50万円を超え、登録会員16名がローテーションで毎日3名が就業しています。

・販売品

竹細工、手芸品、旬の地場野菜、お土産品、おでん・コーヒー等軽飲食、お弁当（注文のみ）

※お弁当は安価で家庭的な味と評判

・イベント「茶屋まつり」年1回開催

会員の作品販売及び地域住民との交流を図る

・その他

来店者へ緑茶無料サービス

ボランティアガイドの資格を持つ会員が観光客へ史跡の説明と地元のPRを行っています。



静岡市シルバー人材センターでは、昨年度から派遣事業に取り組んでいます。指揮命令を受ける仕事は、請負契約では禁止されているために、派遣事業所として登録し、多様な業務を受注しています。

特に車両の運転業務についてはリスクが高いうえに請負として受託するには就業条件・基準が厳しいことから、同センターは、新規の受注は派遣で、また継続中の運転業務は派遣に切り替えるよう努めています。



シルバー派遣事業で多様な就労

静岡市CS

平成22年度シニアワークプログラム地域事業（略称：SP）

平成22年度SP技能・介護講習の実施計画です

60歳代前半層を中心とする働く意欲のある高齢者を対象に技能・技術を身につけることを目的にした講習会です。各市町のシルバー人材センター・事業主団体・職業安定所との連携、協力を得て開催し雇用・就業を支援します。

【長期講習】

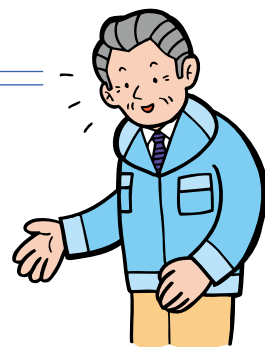
講習実施科目	日数(日)	定員(人)	回数(回)
①ヘルパー 2 級	21	20	11
②ガイドヘルパー	7	20	1
③家事・子育て	7	20	2
④家事援助	7	20	3
⑤子育て支援	7	20	3
⑥造園緑化	7	20	11
⑦マンション管理	7	20	3
⑧フォークリフト	6	20	2
⑨会計補助	7	20	2
⑩警備業務	7	20	1
合 計	425	780	39

【短期講習】

講習実施科目	日数(日)	定員(人)	回数(回)
①家事・子育て	5	20	1
②庭園サービス	5	20	10
③筆耕	5	20	2
④農業支援	5	20	2
合 計	75	300	15

SP技能・介護講習の実施状況です

講習名	実施期間	実施地域	受講者数(人)	修了者数(人)
ヘルパー 2 級	6/28～8/30	藤枝	23	23
〃	7/2～9/28	焼津	20	20
〃	7/8～9/14	島田	20	19
〃	7/13～9/27	長泉	10	10
家事・子育て	6/22～7/9	焼津	26	24
〃	7/21～9/9	浜北	14	10
マンション管理	8/23～9/1	静岡	19	19
筆耕	7/1～9/2	焼津	20	16
〃	8/2～9/6	富士	20	19
造園緑化	9/6～9/14	静岡	20	20
〃	9/9～9/17	湖西	11	11
庭園サービス	7/20～7/23	菊川	17	15
〃	9/13～9/17	沼津	20	19
〃	9/21～9/30	三島	17	12
9 月 末 合 計			257	237



離職中または離職予定のシニア（55歳以上）の社会参加を支援します！ 平成22年度シニア就業支援プログラム事業（略称：SSP）

シニア就業支援プログラム事業は県シ連が厚生労働省の委託を受け、離職中または離職予定のシニアの就職、就業、ボランティア活動等の社会参加を支援するため、支援講座・就業体験、相談支援、情報提供等を実施します。

○目標と実績

（注）目標と前年実績は年間、本年実績は10月15日現在の数値

	目標	本年実績	達成率	前年実績	達成率
事業の登録者	2,000名	1,148名	57%	1,283名	64%
社会参加実績	400名	338名	85%	529名	132%
ワークショップ・支援講座参加	1,000名	454名	45%	957名	96%

○シルバー就業体験

月日	内容	開催地
7/9(金)	遊泳場の浜清掃	沼津
7/16(金)	遊泳場の浜清掃	
9/21(火)	草取り除草作業	
9/29(水)	草取り除草作業	

10月浜松、11月静岡、開催を計画しています

○シニア就業支援講座

（注）前期分は実施済み

開催月	テーマ	開催地
6月	再就職実現セミナー	各テーマ共、沼津、静岡、浜松で開催
7月	経済生活設計セミナー	
11月	再就職実現セミナー・パートⅡ	
12月	シニアの多様な働き方！私が選ぶ働き方！	

○シニア就業支援相談会

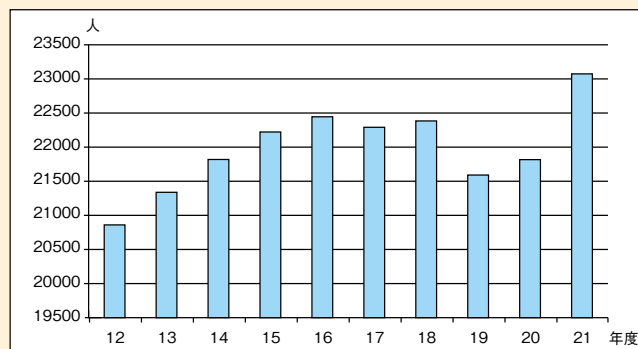
ハローワークおよび静岡県の協力を得て専門のキャリアカウンセラーを相談員とし、相談ブースを設け一対一で就職・就業に向け相談に応じます。

10月に沼津、静岡、浜松で開催し、第2回を23年2月に予定しています。

平成21年度 グラフで見る県内全センターの実績

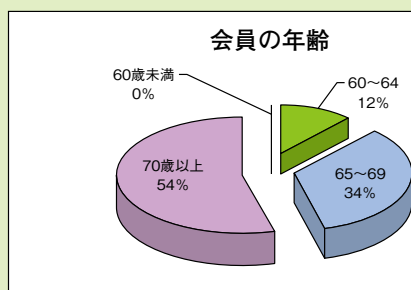
①会員数は初の2万3千人台

会員数は23,074人。対前年1,257人、5.8%の増加でした。

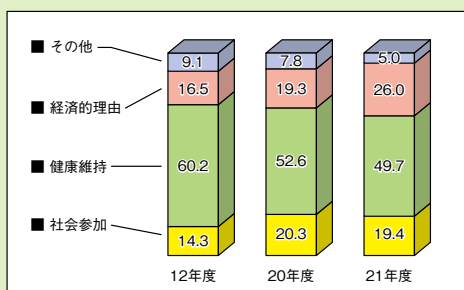


②会員の高齢化が進む

会員の年齢は平均70.7歳で高齢化が進んでいます。

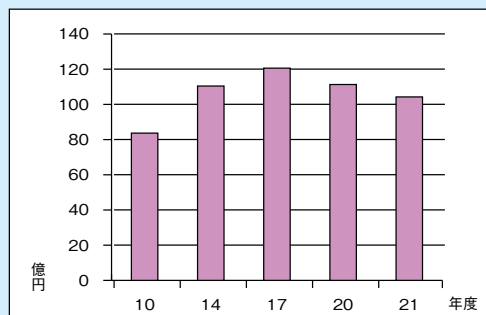


③加入理由は経済的理由が増加



④契約金額は苦戦

契約金額は104億7千万円。前年比5.9%の減少となり、4年続けてのマイナス。
全国は4.0%の減少でした。額は全国第9位です。
民間受注が前年比9.9%減少、
公共受注は9.8%増加となりました。



⑤就業状況

就業会員一人当りの月平均就業日数は9.7日、月平均配分金は39,806円、それぞれ前年より減少しました。

	20年度	21年度
月平均就業日数	10.5	9.7
月平均配分金	44,010	39,806
一人当たり一日の配分金 (円)	4,184	4,105

編集後記

シルバーを取り巻く環境は大変厳しく、県シ連だよりの発行も本年は年一回となりました。編集にあたった3人で10月の初め富士山新五合目を歩きました。新鮮な空気を胸いっぱい吸い「ガンバロウ」と心を新たにしました。



富士山頂をのぞむ